

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
国際関係論		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
村上 雅博	教員控室	kango	Teams 授業後半 30 分に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>日本と国際社会(国連:UN) および発展途上国の関係性⇄相互依存性に基づいた外交関係は平和国家の生命線である。平和を希求する日本の外交政策の問題を抽出して解決に向けた課題を考え、国際協力(ODA)の役割と意義を明らかにすることから、自身の言葉(文章)で国際社会における日本の未来に向けた論点や意見を主張することができるような能力を身につけていくことが目的である。</p> <p>講義では Teams を活用し、日本の平和外交の要点となっている主要なテーマ【戦争(紛争)と平和、貧困・差別・格差、国際連合、国連憲章、世界保健機構(WHO-UHC)、持続可能な開発目標(SDGs)、日本国憲法、国際貢献、政府開発援助(ODA)、NGO-NPO、人間の安全保障、テロ問題、等】についての歴史認識を踏まえて解説し、一般教養レベルの国際関係に関する知識力に加えて考察力を高める。今、新型コロナ(COVID-19)禍問題で直面している公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的人権や公正や正義及び功利主義と義務論にも着目している。ヒポクラテス、ナイチンゲール、デュナン、ゼンメルワイスの医療倫理の原点に係わる事例を含めて解説するので、問題を解決するための課題を見極める力をつけていこう。</p>				
授業形式・方法	<p>□対面授業  <input checked="" type="checkbox"/>遠隔授業(双方向型)  <input type="checkbox"/>遠隔授業(自主学習)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>講義  <input type="checkbox"/>実習</p> <p><input type="checkbox"/>PBL  <input type="checkbox"/>グループワーク  <input type="checkbox"/>その他</p> <p><input type="checkbox"/>反転授業  <input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション・ディベート  <input type="checkbox"/>実習・フィールドワーク</p>				
学習上の助言	<p>講義のユニットごとに PPT-PDF の電子ファイルと基本的なキーワードを含む小テスト(穴あけ・知識問題:各 10 問)形式の学習プリントが Teams にて配布されるので、積極的に予習・復習と試験の対策に活用してほしい。講義の終盤の約 30 分間程度でキーワード演習を Teams レポート(WORD)形式で実施するのでその場の講義時間内で要領よく対応してほしい。同時に演習時間内に質問・コメント(Teams のマイクをオンにして)をしてください、約 30 分間程度ありますので挙手を歓迎します。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要な参考資料プリント(PDF)と講義用の PPT-PDF file を事前に Teams で配信。				
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料で Internet-Web に公開されています。出展の URL : <a href="http://">http://</a> を明記した小テスト(穴あけ問題)形式の参考資料プリントを配布する。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	平和国家の存続基盤となる平和(目的)と外交(手段)のポイントになる知識を習得し、役割と意義を理解すると共に、生命倫理にも係わる問題を抽出して解決につながる課題について考える力を身につけ、自分の言葉(文章)で論点を主張・説明することができる。		HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(5)		
②	戦争と平和と外交の根源的な問題と課題および歴史認識にかかわる深いテーマについて、人間の命に直接に係わる職業人としての一般教養力と自身の根源的な思考能力(考える力)を高めていくことができる。自分や日本の事だけでなく国際社会の一員として責任のある職業人(プロフェッショナル)になるための意識と見識を高めていくことができる。		HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(5)		
③					
④					
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	プロローグ:今、世界は!「世界百人村」から、「幸福」とは?「不幸」とは?⇄貧困・格差・差別の問題←【COVID-19 の影響は貧困層により深刻】	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
2	[A-1] 国際連合(UN):世界平和と日本国憲法の原点は国連憲章 ~”安全保障”と”経済社会開発が国連の基軸”~ ロシア・ウクライナ紛争の視点と論点	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
3	[A-2] 国際連合(UN):貧困と格差の問題に取り組む人間開発 (UNDP) ⇄ クリミア戦争とドフストエフスキーの”罪と罰”より功利主義の問題を考える	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
4	[A-3] 国際連合(UN):ミレニアム開発目標(MDGs)から持続的開発目標(SDGs)へ → “だれ一人たり残さないために”⇄Universal Health Coverage: UHC	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
5	[B-1] 戦争と平和と外交の原点と歴史認識:紀元前:オリエント時代【旧約聖書の世界とユダヤ・パレスチナ・中東と平和問題の根源と課題】	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
6	[B-2] 戦争と平和と外交の原点と歴史認識:紀元後 0-9 世紀の宗教対立【ユダヤ離散後のキリスト教とイスラム教の対立と紛争解決における課題】	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

7	[B-3]戦争と平和と外交の原点と歴史認識:紀元後 9-19 世紀の宗教対立【十字軍問題とオスマントルコ帝国の対立と派遣抗争の問題と課題】	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
8	[B-4]戦争と平和と外交の原点と歴史認識:紀元後 20 世紀【第一次大戦とイギリスの三枚舌外交+第二次大戦とイスラエル/パレスチナ紛争の問題と課題】	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
9	[C-1] 日本の外交の目的と意義:平和外交の原点は国連憲章と日本国憲法	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
10	[C-2] 日本の外交の目的と意義:国際社会の平和を築く国際協力のエンジンは政府開発援助(ODA)	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
11	[C-3] 日本の外交の目的と意義:人間の安全保障(基本的人権)から平和外交の目的と意義を考える	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
12	[D-1] 国(境)を超えるパンデミックと公衆衛生:世界の歴史を変えた感染症・疫病(パンデミック)	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
13	[D-2] 国(境)を超えるパンデミックと公衆衛生:戦争と感染症対策から生まれた看護学と公衆衛生学:ゼンメルワイス+スノウ+ナイチンゲール+デュナン	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
14	エビローク(1):医療・看護倫理が何故必要か?:人間の命の価値と公平・公正・正義 v.s 功利主義の問題を考える⇄【「トロロク問題」とリアージ】	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
15	エビローク(2):日本の国際協力は、何のために?何故必要か?:パンデミック(COVID-19)の渦中で、なぜ国際協力(COVAX)が必要か?を再考する	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2
試	定期試験:論文問題(50分間)+知識問題(25分間)			

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	0	5	5	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	0	5
問題を発見・解決する力		10	10	0	0	0	20

		評価のポイント		フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点		
試験	①	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50問)を実施<課題演習シート+PPTファイルから出題>し、基本的な知識習得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。 論文試験(1,200文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力がどの程度についてきているかを評価する。	<input checked="" type="checkbox"/>	知識問題テスト→総合評価(100%)点の 20%で評価。 論文テスト→総合評価(100%)点の 40%で評価。
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	各講義の終盤に約 30 分間程度の課題演習専用の時間帯を設定するので、事前に Teams にアップロードされている当日の「課題(キーワード)演習シート」に取り組み、当該授業の終了時間を用途に自ら Teams にアップロードして提出にかえる。内容は重要と考える順でキーワードを 3 つ(①,②,③)選び、その中で最も大切だと自身が評価する No.①キーワードについて、なぜ興味をもち重要だと考えたかの理由を 300 字以内の所感・文章にしてとりまとめる。量(文章・文字数)と質(内容レベル)の両者からも合わせて評価する。	<input checked="" type="checkbox"/>	総合評価(100%)点の 30%で評価。 第 15 回目最終講義で講評。
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	コロナ対策(遠隔授業)のためディベート発表形式は物理的な休止	<input type="checkbox"/>	
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

ポータル	①	✓	授業の展開段階における成長過程を評価したい。 出欠状況と参加姿勢：質疑応答および課題（キーワード）演習レポートへの取り組み内容レベル等を含めて総合的にチェックする。	第 15 回目最終講義で講評。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	コロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断	
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員				
教員の実務経験				
実践的授業の内容				
そ の 他	Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。			